

心臓血管外科で左室補助人工心臓装着術を受けられた患者さん・ご家族様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

対象となる方

左室補助人工心臓装着術を受けられた患者様。

研究課題名

左室補助人工心臓装着術における Vector Flow Mapping mode の有用性に関する研究

研究責任者

国立循環器病研究センター 南 公人 集中治療科 医師

研究の目的

経食道エコーの Vector Flow Mapping (VFM) mode を周術期に使用する有用性を評価すること

利用するカルテ情報・資料

年齢、性別、身長、体重、体表面積、診断、術式、術前の併存弁疾患、術前の併存疾患(高血圧症、脂質異常症、糖尿病、認知症、腎不全)、喫煙歴、過剰飲酒歴、脳卒中の既往、悪性腫瘍の既往、肺高血圧の有無、心房細動の合併有無、装着された LVAD の種類、同時施行された術式、脱血管装着部位、送血管装着部位、輸血量、手術時間、麻酔時間、人工心肺時間、心虚血時間、抜管に要した時間、ICU 滞在日数、退院日数、せん妄発症の有無、術後 1 年以内に当院に再入院となった症例：再入院の時期、再入院の理由および診断名、術後 1 年以内に当院で再手術となった症例：再手術の時期、再手術の理由および診断名、術前・術翌日・術 1 週間後・術 1 か月後の採血データより AST, ALT, クレアチニン, 血液尿素窒素, ヘモグロビン, ヘマトクリット, C 反応性蛋白, アルブミン)、術前・術 1 か月後の採血データより BNP、HbA1c、

VFM mode による左室内、上行大動脈内、右室内の血流評価、エネルギー損失

研究期間

研究許可日より 2029 年 3 月まで (予定)

個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

問合せ先

国立循環器病研究センター 集中治療科担当医師 南 公人

電話 06-6170-1070(代表) 内線 (60267)